



紹介者
製造担当 **小笠原 慎 さん**

▼**どんな会社ですか**
電線などの長さ測ったり切ったりする機械を作っている会社です。国内で同様の機械を作っている会社はほとんどありません。4S(整理・整頓・清掃・清潔)を常に意識し、従業員一人一人が協力

▼**今後目指していくことは**
モノ作りが好きなので、これからも一つ一つ仕事を覚え、より精度の高い製品を作っていきたいです。

▼**やりがいを感じることは**
作っている部品は、ミクロン単位で精度が求められているので、完成させたときには達成感があります。

▼**仕事で心掛けていることは**
納期を守ることはもちろん長さを測る機械なので、図面どおりの部品を確実に作ることを心掛けています。

▼**どんな仕事をしていますか**
主に、測長機に使う部品を作っています。100点前後の部品から作られる機械は、完成まで約1カ月かかります。

し合い、どの仕事でもできるよう取り組んでいる会社です。

まちの企業探検隊⑭ スカイ工業(株)八幡平 リサーチセンター

企業人による会社紹介

所在地 平笠24-1-36
資本金 2,000万円
代表者 山瀬 憲吾
設立 平成3年4月
従業員数 7人
電話番号 ☎75-2330
事業内容 電線やケーブルなど長尺物の測長機などの開発
主な取引先 日立電線(株)、(株)フジクラ、古河電工(株)など



さまざまなスポーツを体験し、自分を高めている団員たち

▼**練習日時・場所**
▽夏期 毎週火・木、午後6時半から8時まで、田山小学校体育館
▽冬期 土・日曜日、午前9時から正午まで、田山スキー場など

総合運動の5つの部があります。基礎運動能力を身に付けることに重点を置き、将来さまざまなスポーツができるような活動をしています。活動を通して、スポーツの楽しさはもちろん、広い人間関係を築いてもらいたいと考えています。



トレーニングの一環・スキー大会の前走

No.9 田山スポーツ少年団

田山スポーツ少年団は、昭和47年に設立されたスポーツ少年団です。これまで、全国大会への出場や県大会などでの入賞などを果たしています。現在は、小学校2年生から6年生までの27人が所属。同スポーツ少年団には、スキー(アルペン・クロスカントリール・ジャンプ)、ソフトボール、本年度から始まった

われりスポーツ少年団

No.65

広報クイズ 2月3日号の問題

全国高校スキー大会に市の選手は何人が出場？

正解者の中から抽選で3人に500円分の図書カードをお贈りします。
◎応募方法 はがき、FAX、メールに「答え、住所、氏名、年齢」を書いて応募してください。答えのほかに、広報の感想や意見などを必ず書き添えてください。紙面づくりの参考にさせていただきます。
◎応募先 八幡平市役所「広報クイズ係」 ☆はがき 〒028-7192(住所不要)
☆FAX 75-0469 ☆メール somuka@city.hachimantai.lg.jp (タイトルに「広報クイズ」と入力、携帯電話は右の二次元コードから送信できます)
◎応募期限 2月22日(火) 消印有効
◎第64回の正解 「郵便配達夫の恋」 ◎応募者数 12人 ◎正解者数 12人
◎当選者 伊藤美咲さん(大更)、高橋麻理子さん(平館)、松尾コノエさん(松尾)



寒い季節につらい冷え性を解消しよう

毎日寒い日が続き、手足などの冷えを感じる人も多いのではないのでしょうか。冷え性の原因は、血行不良や体温を調整する機能・自律神経の異常といわれています。冷え性を改善し、快適な冬を過ごしましょう。

◆**簡単にできる冷え性の対策**

- ①保温に気を付ける 下着や衣類で工夫し、体を温めるようにしましょう。体の中心部を冷やさないことが大切です。
- ②入浴で体を温める シャワーだけで済ませず、ぬるめのお湯で、ゆっくりお風呂に入り温まりましょう。熱いお湯は、体の表面しか温まらず、湯冷めしやすいので避けましょう。
- ③食事を工夫する ほうじ茶や紅茶などの茶色の飲み物、食べ物では、にんじんやごぼうなどの根菜類、赤や黒の野菜が体を温めてくれます。また、しょうがや唐辛子は、新陳代謝や内臓の働きを活発にし、体を温めるのに効果的です。ぜひ食事の中に取り入れましょう。



助成を希望する人は期限内の申し込みを

人間ドック・脳ドック 受診費用を助成します

23年度に人間ドックと脳ドックを受診する費用を助成します。希望する人は、申し込みください。

■対象者(4月1日現在、次の年齢の人)

▽人間ドック 35、38、41、44、47、50、53、56、59、62、65、68、71、74歳

▽脳ドック 35、40、45、50、55、60、65、70、75歳

■助成額

▽人間ドック 1万円
▽脳ドック 上限1万5000円

■申込期限 2月25日(金)

保健のひろば

☎内線1151 市役所保健課

介護のココロ

☎内線1185 市役所長寿社会課

◆認知症セミナーを開催

1月14日、認知症セミナーをふれあいセンターで開催しました。

市民など80人が参加。千葉喜久也東京有明医療大学准教授が「学ぼう、考えよう、認知症のこと」と題し、さまざまな認知症の事例について講演。



認知症のさまざまな事例を紹介

「『ご飯を食べたのに食べてない』と言い張る場合は、空腹感を自分でいつでも満たせるように、食べ物をテーブルやこたつなどに置く工夫をする」など、否定や抑制をするのではなく、より良く生きるためのお手伝いをするの大切さを語りました。

なお、千葉先生の公開講座は、2月24日(木)に西根地区市民センターでも開催されます。詳しくは、介護・生活相談所「陽だまり」(☎78-2228)まで。

環境のみらい

☎内線1137 市役所市民課



犬には身元を表示してください

◆動物愛護—小さな命のために私たちができること

動物にも人と同じように命があります。ペットを飼う場合は、次のことを確認しましょう。

①経済的・時間的余裕はありますか エサやペット用品以外に、予防注射などの経済的負担や散歩や給餌など毎日の世話をする時間が必要です。

②ペットを飼える環境ですか 動物の種類によって快適な環境は異なります。また、アパートや貸家の場合は、大家さんの承諾も必要です。

③一生面倒を見ることができそうですか 飼い始めたら、最後まで責任を持って飼う必要があります。手放す場合も他の飼い主を探さなければなりません。

【ノラ犬やノラ猫を増やさないために】 飼い主になる気がないなら、餌付けは絶対しないでください。

【犬や猫の飼い主さんへ】 猫は室内で飼い、犬は鎖でつなぎましょう。また、飼い主の連絡先など身元を表示しましょう。もし、飼い犬や猫が逃げた場合は、市役所市民課や保健所に連絡してください。